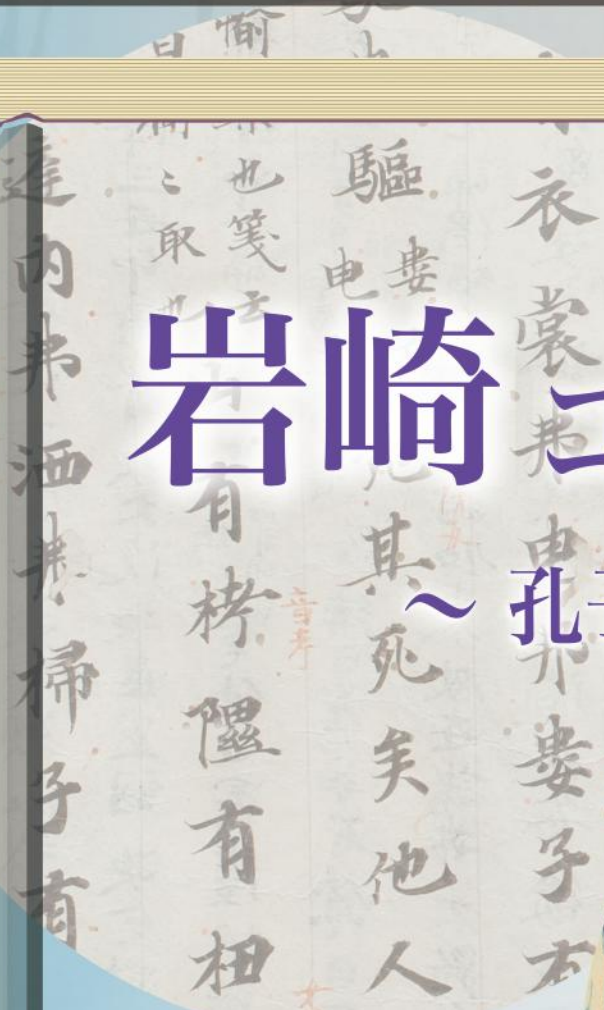


TOYO BUNKO MUSEUM

東洋文庫創立90周年

岩崎コレクション

孔子から浮世絵まで

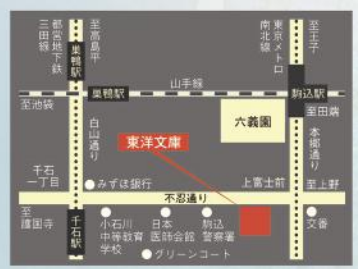


2014年8月20日～12月26日

・浮世絵展示には春画も含まれます。
 浮世絵展示室の入場は18歳以上の方に
 限らせて頂きます。

 東洋文庫ミュージアム

〒113-0021 東京都文京区本駒込2-28-21 TEL: 03-3942-0280
 入館料 ◆900円(一般)・800円(シニア)・800円(大学生)・200円(中・高校生)・小学生以下無料
 ※18歳未満の方は、一部の展示室にご入場できませんのでご了承下さい。
 アクセス ◆駒込駅 (JR山手線南口、東京メトロ南北線2番出口) 徒歩8分、
 千石駅 (都営地下鉄三田線A4番出口) 徒歩7分
 開館時間 ◆10:00～19:00 ※入館は閉館の30分前まで
 休館日 ◆毎週火曜日(ただし火曜日が祝日の場合は次の平日)



90年のお祝いにスターが集結!!



浮世絵界の巨人・北斎の代表作

葛飾北斎「諸国瀧廻り」
1832-33年

東洋文庫は、三菱第三代社長岩崎久彌により、東洋学の専門図書館として1924年11月に設立されました。久彌は土地と運営資金を寄付するだけでなく、自身が購入した書物を一括で東洋文庫に寄贈しました。欧文の貴重書が集まった「モリソン文庫」をはじめとするこれらの書物が、約100万冊にのぼる今日の蔵書の礎となっています。また、忘れてはいけないのが岩崎宗家に伝わる和漢書を中心とした「岩崎文庫」です。国宝、重要文化財を含む古写本から浮世絵にいたる多彩なコレクションも、久彌より寄贈されました。

創立90周年を記念して、本展では岩崎文庫を中心とする所蔵の名品を一挙に公開し、東洋文庫へと受け継がれた、至宝というべきコレクションの全体像と形成の流れをたどります。とりわけ浮世絵に関しては、鮮やかで美しい色合いを留めた上質な作品の数々をご覧いただける貴重な機会です。また、春画はすべて今回が初公開となります。

「こんな本もあったのか!」という逸品との出会いをお楽しみください。



90年ぶりの公開

重要文化財「礼記正義」7-8世紀(唐時代)写 展示期間:10月22日~12月26日



喜多川歌麿
「高島おひさ」
1793年頃
展示期間:8月20日~10月20日

歌麿が描く江戸美人2人



喜多川歌麿
「錦織歌麿形新模様 うちかけ」
1797年頃
展示期間:10月22日~12月26日



印刷の美を極めた本

「徒然草」(光悦本) 17世紀初期刊



かよわく儂い美しさ

鈴木春信「春画貼込帖」
1768-72年

国宝の展示

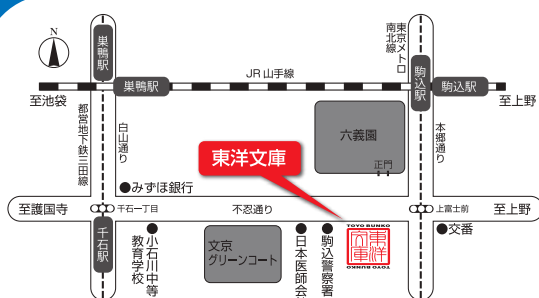


◀ 国宝『毛詩』

7-8世紀(唐時代)写
(展示期間:2014年8月20日~10月20日)

▼ 国宝『文選集注』

10-12世紀(平安時代)写
(展示期間:10月22日~12月26日)



交通案内:
駒込駅 (JR山手線南口、東京メトロ南北線2番出口) 徒歩8分
千石駅 (都営地下鉄三田線A4番出口) 徒歩7分

東洋文庫

〒113-0021 東京都文京区本駒込 2-28-21
TEL : 03-3942-0280
<http://www.toyo-bunko.or.jp/museum/>

◆あわせてご利用ください

*ミュージアムショップ
「マルコ・ポーロ」
(10:00 ~ 19:00)
*レストラン
「オリент・カフェ」
(11:30 ~ 21:30)